岡南飛行場遮断器精密点検整備業務　仕様書

1　適用範囲

この仕様書は、岡山県が発注する岡南飛行場遮断器精密点検整備業務（以下「本修繕」という。）に適用する。

2　修繕目的及び範囲

電源局舎の遮断器の精密点検整備を行う。

3　修繕実施場所

本修繕の実施場所は、次のとおりとする。

岡山市南区浦安南町　岡南飛行場電源局舎

4　修繕内容

・電源局舎に設置されている遮断器５台の精密点検整備を行う。

詳細項目は次のとおり。

(1) 部品交換

補助スイッチ	５個
制御回路基板	５枚
リミットスイッチ（ＬＳ１～３）	５式
インターロックスイッチ	５式
制御用コイル	１０個
電動機	５台
オイルダンパ	５個
蓄勢ハンドル部カム組立	５式

(2) 操作機構部の摩耗、ゆるみ、異常の点検及び調整

(3) 接合部の摩耗、発錆の点検

(4) 絶縁抵抗測定

(5) 投入操作試験

(6) 引出し操作試験

5　修繕期間

契約日から平成２８年3月３１日まで

6　遮断器の仕様

真空遮断器

製造者	株式会社東芝
製造年月	１９９９年1月
形式	ＶＨＡ－６Ｈ８Ｓ

定格電圧	７．２／３．６kV
絶縁階級	６号Ａ
定格電流	４００Ａ
定格遮断電流	８kA
定格遮断時間	３サイクル
定格閉路制御電圧	ＤＣ１００／１１０Ｖ
定格開路制御電圧	ＤＣ１００／１１０Ｖ
規格	ＪＩＳ　Ｃ　４６０３
総重量	４３kg
台数	５台

7　適用規格等

(1) 航空灯火・電気施設工事共通仕様書　(国土交通省航空局)
(2) 発電装置共通仕様書　(国土交通省航空局)
(3) 岡山県土木工事共通仕様書　(岡山県土木部)
(4) 電気設備技術基準　(経済産業省令)
(5) 電気通信設備工事共通仕様書　(国土交通省大臣官房技術調査課)
(6) 電気通信設備据付標準図集　(国土交通省大臣官房技術調査課)
(7) 国際電気通信連合 ITU-T 及び ITU-R 勧告書　(旧 CCITT)
(8) 日本工業規格値（JIS）　(日本規格協会)
(9) 日本電機工業会標準規格（JEM）　(日本電機工業会)
(10) 電気学会電気規格調査会標準規格（JEC）(電気学会)
(11) 日本電子機械工業会規格（EIAJ）　(日本電子機械工業会)
(12) 航空法及び同法関係法令
(13) 消防法及び同法関係法令
(14) 有線電気通信法及び同法関係法令
(15) 関連機器取扱説明書及び工事要領書
(16) その他関係法令及び規格

8　修繕書類の提出

(1) 施工計画書
(2) 修繕写真帳
（施工前・施工中・施工後の状況、交換部品、機材が分かるもの。）
(3) 完成報告関係
（点検整備報告書、試験成績書等）
(4) 支払関係書類（請求書等）
(5) その他、岡山県が必要とする資料

9　保証

修繕完了後２年以内に発生した障害で、本修繕に起因して明らかに請負者の責に帰すると認められるものについては、無償修理、取替え等を行うものとする。

１０　注意事項

・作業可能時間は１８：３０～翌日７：３０とする。
・遮断器は飛行場の運用に必要不可欠なものであるから、毎日復旧させること。
・本修繕により発生した廃材類は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等関係法令を遵守して適正に処分すること。
・電源局舎は岡南飛行場の制限区域内にあり、飛行場制限区域内への立入については別紙「特記仕様書（制限区域立入）」によるものとする。

１１　請負者の義務

請負者は、次の項目を遵守し、作業実施すること。

(1)　労働安全規則等関係法規に従い常に作業従事者並びに一般公衆の安全管理に必要な措置を講ずること。特に指示無くとも、これら安全のために当然危険を回避する努力をすべき事項について、これを怠ってはならない。
(2)　作業実施に必要な現地確認・現況把握等は、必要によりこれを実施すること。
(3)　航空機の安全な運航及び航空保安上重要な施設（以下「重要施設」という。）の機能に支障を与えないように、当該点検対象物件が重要施設としての機能を十分発揮できるよう常に留意の上、その作業を行うこと。また、これを確保するために必要な事項として岡山県の担当者及び設備運用担当者から受けた指示は厳守すること。
(4)　航空法、県条例等を遵守し、必要な申請、届出等手続は速やかに行うこと。
(5)　仕様書に明記されていない細部の事項について県担当者の指示に従うものとし、たとえ指示がない場合でも、技術上当然必要である事項はこれを省略してはならない。
(6)　請負者は、本修繕を遂行するにあたっては、防火、防犯、安全に十分注意し、その発生原因が請負者の責任による場合は、請負者の責任において処理すること。
(7)　建築物及び既存又は施工中の機器・施設等の保護には十分留意し、万一破損等損害を与えた場合の修復、補修等は、請負者の責任において処理すること。
(8)　施工方法及び使用材料等に係わる特許、実用新案及び意匠登録等の処理は、請負者の責任において処理すること。
(9)　事故が発生したときは、速やかに県担当者に報告し、指示を受けること。

特記仕様書（制限区域立入）

岡南飛行場の制限区域内において工事作業を実施する場合、下記の事項に留意すること。

１　管理事務所長の制限区域立入許可等(車両運転・立入許可、車両運行許可等）を受けること。

２　保安及び安全対策

（１）請負業者は、「現場管理責任者」を選定し、責任の所在を明確にさせるとともに、工事作業実施中においては常時連絡が取れる体制を確保すること。

３　遵守事項

請負業者は、航空機の安全確保と制限区域内の安全管理を図るため、岡山県岡南飛行場条例等関係諸規定に定めるものの他、次に揚げる事項を遵守すること。

（１）制限区域内は、航空機の安全運航が最優先であることを十分認識して行動すること。

（２）航空機移動区域においては、航空機が高速度で走行しているので、事前に退避し進路を妨害しないよう特に注意すること。また、航空機のジェットブラスト及びヘリコプターのダウンウォッシュ等は非常に危険であるので細心の注意を払うこと。

（３）立入ゲート、工事現場に至る工事車両通路は、指定された場所を使用し、飛行場の日常業務の円滑な流れを妨げることのないよう心掛けること。

なお、２３：００～翌５：００までは原則、制限区域のゲートは開門しない。

（４）工事等車両の駐車は、指定された場所で行うこと。

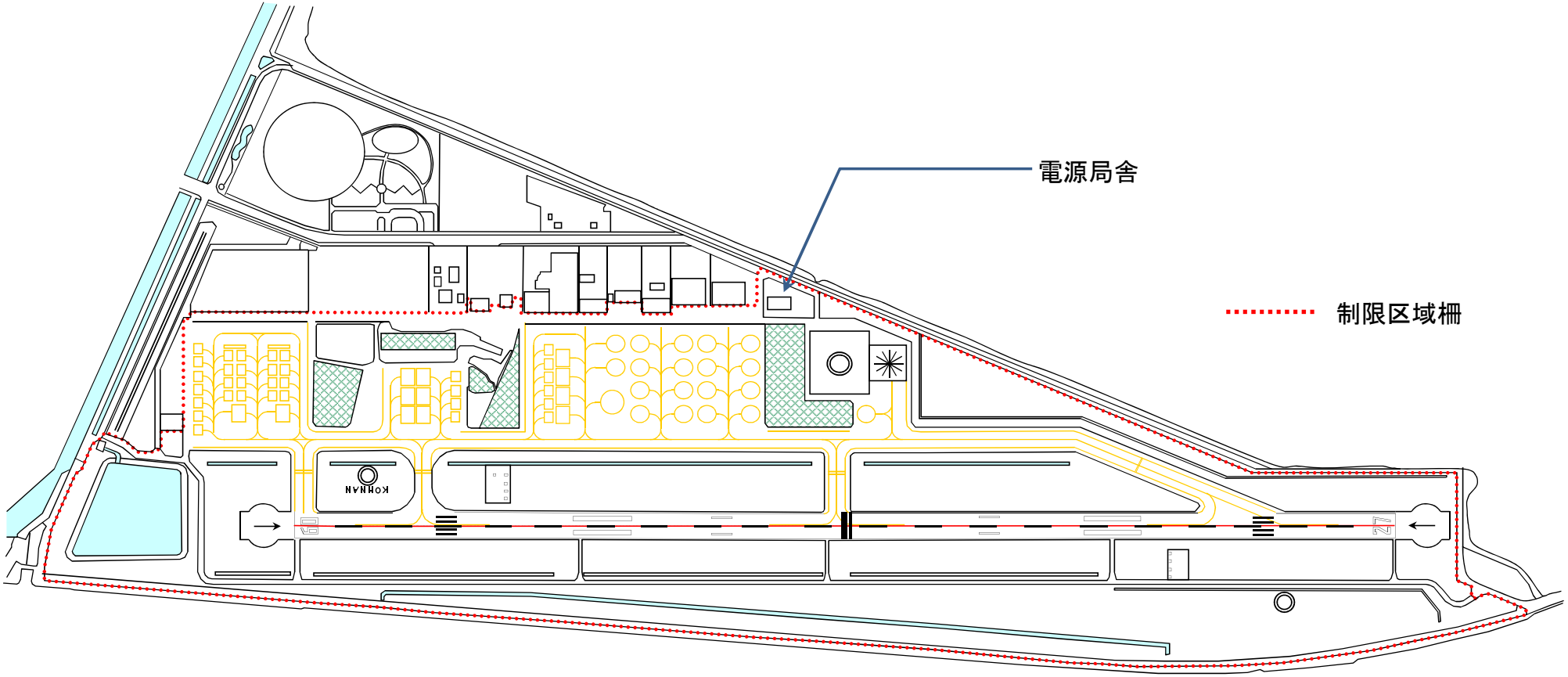
（５）制限区域内は火気厳禁となっているので、喫煙はしないこと。

（６）工事区域は認められた範囲とし、資材置き場は指定された場所に限定すること。

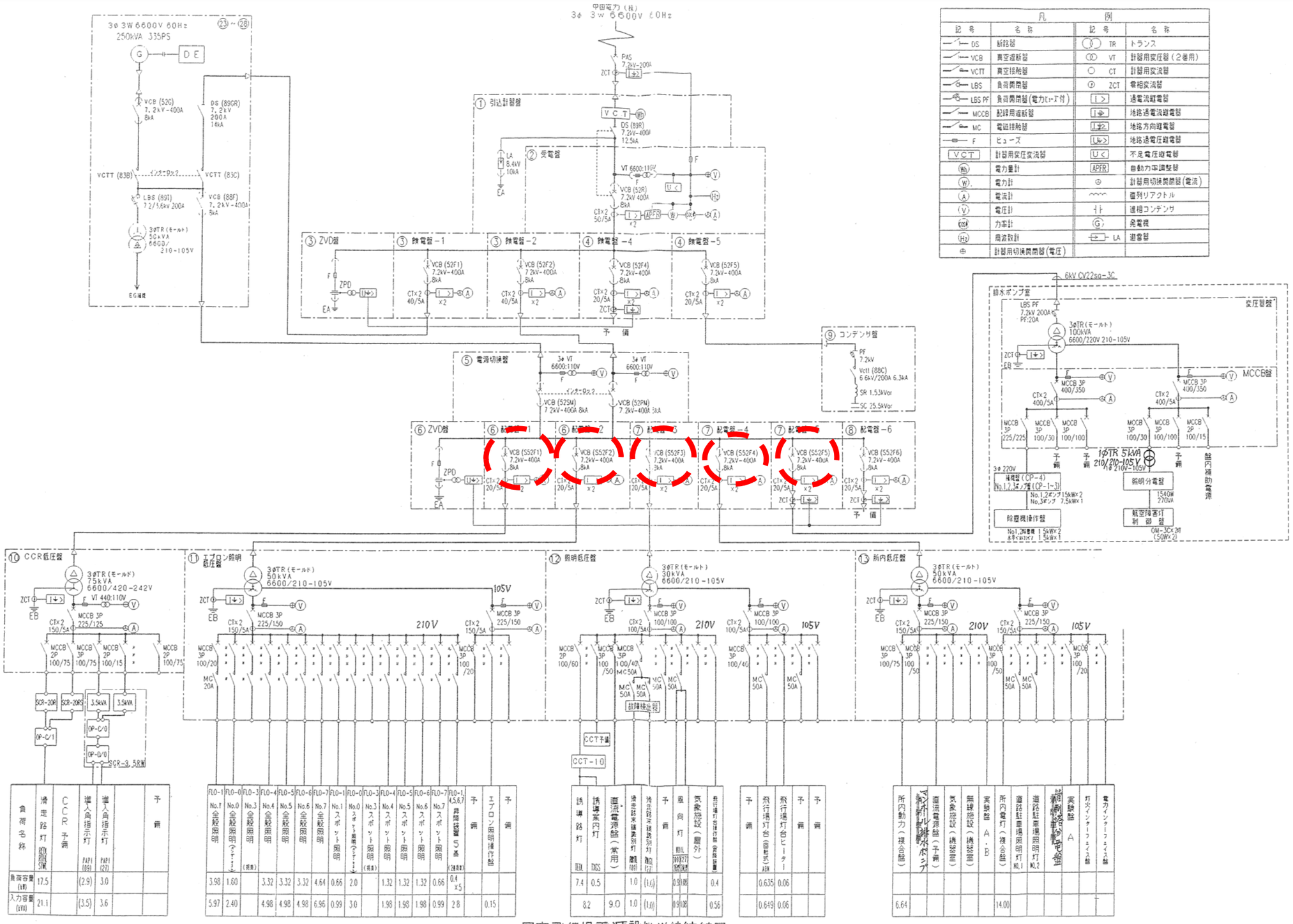
（７）工事の実施において火気を使用する必要がある場合は、別に管理事務所長に裸火使用許可を受けること。

（８）「現場管理責任者」は、遵守事項を末端の作業員に周知徹底するとともに、あらかじめ認められた工事区域以外は、みだりに立ち入らないようその動向に十分注意すること。

（９）その他、特に指示する事項を遵守すること。また、疑義がある場合は、その旨照会すること。



図番	1
岡南飛行場遮断器精密点検整備業務	
岡南飛行場平面図	



凡例

記号	名称	記号	名称
DS	断路器	TR	トランス
VCB	真空遮断器	VT	計器用変圧器（2巻用）
VCTT	真空接触器	CT	計器用変流器
LBS	負荷開閉器	ZCT	零相変流器
LBS PF	負荷開閉器（電力ヒューズ付）	I>	過電流継電器
MCCB	配線用遮断器	Ig>	地絡過電流継電器
MC	電磁接触器	Ig>	地絡方向継電器
F	ヒューズ	Ug>	地絡過電圧継電器
VCT	計器用変成変流器	U<	不足電圧継電器
Wh	電力量計	APFR	自動力率調整器
W	電力計		計器用切換開閉器（電流）
A	電流計		直列リアクトル
V	電圧計		進相コンデンサ
cosφ	力率計	G	発電機
Hz	周波数計	LA	避雷器
	計器用切換開閉器（電圧）		

対象遮断器

岡南飛行場電源設備単線結線図

図番	2
岡南飛行場遮断器精密点検整備業務	
電源局舎　単線結線図	